

令和3年度 岡山県立倉敷工業高等学校 学校評価書

岡山県立倉敷工業高等学校
校長 安藤 正道

1 自己評価

I 評価結果 (別紙参照)

II 特長と分析 (主なものを紹介)

【人間力の向上】

倉工祭の開催にあたり、感染症対策を踏まえて、生徒会が中心となって新たな形式で実施するなど、生徒の主体性が見られた。硬式野球部が13年振りに選抜高校野球大会へ出場(11回目)。

【学力の充実】

ICT活用に関するプロジェクトを中心として Chromebook の機能を用いて授業動画や課題等を配信し、学びの保障に努めた。ジュニアマイスター顕彰に92名(昨年比-9)、職業教育技術顕彰に51名(同+12)、工業教育技術顕彰に63名(同+47)が受章するなどした。

【キャリア教育】

就職希望者224名、進学希望者79名で合格率100%を達成。公立大学へ4年ぶりに合格(2名)。自己評価アンケート「3年間を通して計画的に行われている」に8.2ポイント(昨年比±0)。

【地域連携】

SOJA イlluminateーションへ出展、フェイスシールド・木製レーキの寄贈、倉工ルミナリエで地域に感謝、ハチモッテ Project で他校と連携、カヌー部の高梁川河川敷清掃。学校HPへのアクセス数は最高位で県下第2位!

【ものづくり】

溶接部門、電気工事部門で中国大会出場、ゼロハンカー大会に2台のマシンが、マイコンカーにも出場。最終年度にあたるスーパーエンバ イロメントハイスクール(SEH)研究事業を専門5科協同で進め報告会を実施。スマート専門高校に向け、五軸マシニングセンタ等の最新機器の活用技能の習得。

【校内組織の活性化と人材育成】

分掌等における業務の効率化と相互扶助の促進、業務内容の見直し、年間計画に則り、時期に応じたコンプライアンス研修の実施。3つのプロジェクトを通じたOJTによる人材育成。

2 学校関係者評価委員名 (五十音順、敬称略)

- 風早厚子 (有) 風早鋳金 役員
- 滝澤 昇 (岡山理科大学工学部 教授)
- 堀 武志 (本校PTA 会長)
- 三宅 香 (本校同窓会 副会長)
- 向谷 隆 (岡山ロボテックセンター(株) 代表取締役)

3 学校関係者評価 (主なものを紹介)

- ・SEHの取組内容は高校生のレベルを超えており、得た技能は社会に出たときに必ず役に立つ。
- ・地域とコラボレーション、貢献している事業が非常に多く、普通科高校ではできない、技術を交えて地域に貢献する事業を進めている。本校生徒は社会で即戦力になることは間違いない。
- ・Chromebookの活用と従来の学びとのバランスが大切である。Chromebookを活用した遊び感覚を取り入れた学習等により、学習量が増し、基礎学力を身に付けることもできると考えられる。
- ・学年の垣根を超えた縦の繋がりを活用し、学びの動機付けを向上する取組が評価できる。
- ・話題作りや情報発信力が上手だと感じる。HPも見たいコンテンツを探し出すのが容易である。
- ・教育現場に五軸マシニングセンタ等の最新機器が導入され驚いている。今後の活用と即戦力となる人材育成に期待している。

4 来年度の重点取り組み (学校評価を踏まえた今後の方向性)

◎重点目標：「倉工スタンダード」による「人づくり」～地域から信頼され愛される人～

- ・【人間力の向上】…学校行事の精選と充実、基本的な生活習慣の確立、豊かな人間性の育成等
- ・【学力の充実】…ICTの有効活用、基礎・基本を定着させる授業、SDGs、PBL視点の学び等
- ・【キャリア教育】…進路(就職・大学進学)に応じた指導の充実、企業・学校研究の充実等
- ・【地域連携】…地域や社会と連携した学びの実践、HP・ツイッターでの情報発信等
- ・【ものづくり】…最先端のデジタル化対応装置の活用、課題研究の魅力づくり、安全教育等
- ・【校内組織の活性化と人材育成】…相互扶助、ICT機器の有効活用による業務効率化、OJT等